

実写裸眼 3 D ハイビジョンコンテンツの展示御案内

拝啓、時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム(URCF)立体映像伝送作業班は、大型裸眼(メガネなし)3Dモニターにて実写3D医療と実写エンターテイメントコンテンツをより自然に表示、目にやさしい裸眼(メガネなし)3Dコンテンツへと進化いたしました。

敬具

記

大型裸眼 3 D モニターにおける 実写 3 D 医療と実写エンターテイメントコンテンツ表示に成功

URCF 立体映像伝送作業班(本件担当: ㈱NHK メディアテクノロジー、FA システムエンジニアリング ㈱、㈱東芝)は、2011 年 12 月 7 日(水)~9 日(金)、パシフィコ横浜で開催される国際画像機器展 2011 で、大型裸眼 3 D モニター(東芝製試作品)にて、実写 3 D 医療と実写エンターテイメントコンテンツのこれまでにない自然な裸眼 3 D 表示に初めて表示に成功しました。目にやさしい裸眼 3 D は、将来の裸眼 3 D テレビ放送の可能性を感じさせるものです。

従来は実写 3 D 医療コンテンツを Blu Ray プレーヤーから 3 D モニターに表示し、偏光メガネあるいはアクティブシャッターメガネで視聴していましたが、大型裸眼 3 D では 3 D 映像をメガネなしのハイビジョンの高画質で、より自然に楽しめます。(下記視聴環境を御参考ください)

今年の国際画像機器展 2011 では、大型裸眼 3 D モニターに実写 3 D 医療及び実写エンターテイメントコンテンツを表示し、裸眼 3 D モニターならではの超臨場感効果を実感していただけます。

また裸眼テレビ対応ハイビジョン 3 D SurgeCam GL カメラから裸眼 20 インチ 3 D TV に Live 映像の実証実験も実施します。

「人にやさしい 3 D」裸眼(メガネなし) 3 D モニターで実写裸眼映像を多くの方に御覧いただき、3 D 裸眼コンテンツの制作技術・3 D 裸眼表示技術の実証実験を目的とした将来の裸眼 3 D テレビ放送の可能性を探ります。



【実施場所】 国際画像機器展 2011
パシフィコ横浜 住所: 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1
展示場 ホール C、D
FASE ブース No.54 (メディカルゾーン)

【実施期間】 2011 年 12 月 7 日(水)~9 日(金) 10:00~17:00

【お問い合わせ先】



FAシステムエンジニアリング株式会社

URCF 立体映像伝送作業班 リーダー 中村 康則

TEL) 050-3536-1304

URL) <http://www.fase.co.jp>

E-Mail) faseinfo@fase.co.jp